☺「福岡市　子どもと本の日」通信　Ｎｏ．１４６　　平成２９年５月２３日

❀　毎月２３日は「福岡市 子どもと本の日」です　❀

～　子どもの読書活動を推進しましょう　～

□　福岡市中学校図書館教育研究会 の総会

福岡市中学校図書館教育研究会の総会が，４月２６日（木）福岡市教育センターで行われました。

総会では，昨年度に引き続き「自ら学ぶ力を育て，豊かな心を培う学校図書館」という研究テーマのもと，研究会主催による年２回の自主研修会，５８回目を迎える中学生図書委員交流会の実施，さらに，生涯学習課主催の福岡市子ども読書フォーラムへの参加などが今年度の活動として承認されました。

（図書館担当者のグループ討議）

総会後の研修会では，下山門中学校司書教諭の井田和志副会長から「学校図書館運営の仕方」について話がありました。その後，グループに分かれて協議を行いました。

中学校の図書館教育研究会の役員や図書館担当者の熱心さを感じる研究総会でした。

※中学校図書館教育研究会は，福岡市立中学校の図書館の運営・図書館教育について研究し，その向上・発展を図る会です。主な事業として，学校図書館の管理・運営に関する研修や図書館教育・読書教育に関する研修，生徒図書委員交流会などを行っています。

□　こどもの日特別おはなし会

５月５日（金・祝）に，福岡市総合図書館で行われた「こどもの日特別おはなし会」の今年のテーマは，「ことばであそぼう！ことばで楽しもう！」でした。

当日は，幼児と小学生とに会場を分けて行いました。おはなしや大型絵本の読み聞かせ，パネルシアターなどいろいろ内容を工夫した会でした。参加した子どもたちだけでなく，保護者の方も笑顔があふれていました。毎週土曜日と日曜日におはなし会があっていますので，多くの子どもたちが参加してほしいと思いました。

（ぬいぐるみを使った看板）

（会場の廊下のこいのぼりの飾り）

（小学生の会場とおはなし会で使う本）

Ｈｅｌｌｏ！ 学校図書館

今年度も，福岡市内の小中学校，特別支援学校を訪問し，図書館の様子などを紹介していきます。学校の図書館の運営や環境づくりなどの参考になればと思います。

1 早良中学校

入口を入ったところに新しい本が配置してあり，その横には中高生新聞がありました。また，集団読書をする本も揃えてありました。

○ 図書館入口にある本棚

（新刊の紹介）

（新刊の横の棚に中高生新聞がありました）

○ 図書館後方の朝読書の本

（朝読書の本が揃えてありました）

○ テレビや映画で話題になった本

（「下町ロケット」や「三匹のおっさん」などの本）

○ 集団読書の本

（「100万回生きたねこ」「いのちをいただく」など）

2 脇山小学校

入口から入ると，テーブルに本が印象的に配置していました。図書館だけでなく廊下などにも本棚を置き，本の紹介をしていました。

○ 図書館入口の本の配置

（廊下から見た図書館）

（正面）

（正面の右側の棚）

（正面の左側の棚）

○ 図書館の角

（絵本コーナー）

○ 廊下に置かれた本棚

（図書委員のお勧めの本を紹介）

3 早良小学校

子どもたちが書いた本の紹介のポップがたくさんあり，子どもたちが図書館の環境整備に大きな役割を果たしていました。本の配置もわかりやすい図書館でした。

○ ポップを使って本の紹介

（図書館前の廊下掲示板）

（図書館の中）

（ポップを書いているところを掲示）

○ 壁面や書架の表示

（大きく本の分類番号の表示）

○ 図書館内の机と椅子

（軽いため動かしやすい椅子）

♪　福岡アジア美術館　「６月の案内」　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（福岡アジア美術館での読み聞かせ）

＊毎月のお話し会：（６ 月）
　　１１日（日），１３日（火），２５日(日)，　２７日（火）
＊時　間:　１１:３０～１２：００　１３：００～１３：３０
＊場　所:　７階「キッズコーナー」（申し込み不要）

♪　福岡市総合図書館「６月の案内」　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊毎月のお話し会：（６ 月）
　　３日（土），　４日（日），１０日（土），１１日（日）
　　１７日（土），１８日（日），２４日（土），２５日（日）
＊時　間:　土曜:14:30~（幼児向け）　日曜 :14:30~(幼児向け)，15:15~(幼児~小学生向け)
＊場　所:　「こども図書館　おはなしの家」

□　図　書　館　員　の　ひ　み　つ　の　本　棚　《 No.１３３ 》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが，毎月素敵な本を紹介してくださる楽しみなコーナーです。

もうすぐ梅雨になります。今回の本は，雨の日にぴったりの絵本です。

雨の日にお父さんを電車の駅まで迎えに行ったかおるに声をかけてきたのは，ねこでした。なかなか帰ってこないお父さんを，乗り換えをする地下鉄の駅まで迎えに行くため電車に乗り込みますが，その車両に乗っていたのは，くま，おおとかげ，さるなどたくさんの動物でした。

さて，かおるは，お父さんを迎えに行くことができるでしょうか。

この先の話の展開が楽しみですね。

❀ 今月の本

『かさをもって　おむかえ』
征矢　清／さく　　長　新太／え　　福音館書店　　1969 年　972 円

６月生まれの文学者たち

「ズッコケ三人組」と那須　正幹（なす　まさもと）

昭和１７年６月６日　広島市生まれ

作者は，昭和２０年８月６日，３歳の時に，爆心地から３キロ離れていた自宅で被爆し，頭と足にケガをしました。昭和２４年に己斐（こい）小学校に入学しました。その後，１９７８年にシリーズ第１作の『それいけズッコケ三人組』を出版し，２００４年まで５０作が作られました。

「ズッコケ三人組」の通っている花山第二小学校は，那須氏が通った己斐小学校がモデルになっているだけでなく，三人組の舞台となるミドリ市花山町そのものが，広島市己斐町をモデルにしています。JR の西広島駅やそのまわりの風景など，本の挿絵そっくりです。しかも，登場人物である，６年生のハチベエ，ハカセ，モーちゃんは，ハチベエは近所の男の子，モーチャンは中学時代からの友人，そしてハカセは子ども時代の作者だそうです。そして，このズッコケシリーズが終わった後，２００５年から２０１５年まで，この三人組が５０歳になったシリーズとして「ズッコケ中年三人組」が１０シリーズ作られました。

「１００万回生きたねこ」と佐野　洋子（さの　ようこ）

昭和１３年６月２８日　中華人民共和国北京市生まれ　　平成２２年１１月５日没

佐野氏は武蔵野美術大学に学び，ベルリン造形大学で，リトグラフを学びました。「やぎさんのひっこし」で絵本作家としてデビューしました。１９７７年に「１００万回生きたねこ」を発表しました。

「１００万回生きたねこ」は，王様，船乗り，手品使い，どろぼう，おばあさん，女の子など 100 万回も生き返っていろんな飼い主に愛されたねこが，自由なのらねこになりました。自由なのらねこになってはじめて愛することを知りました。そして，愛するものを失って涙を流し，もう生き返ることがなかったというお話です。大人の読者にとっても，「人生」「愛」について深く考え，感動させられる内容です。

佐野氏は，ほかにも「空とぶライオン」「ふつうのくま」などの作品も発表しています。

谷川俊太郎氏は，１９９０年から１９９６年まで佐野氏の配偶者でした。

♪ あとがき　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

五月晴れの美しい青空の下，学校では運動会・体育会の練習で子どもたちの元気な声が響き渡っていることでしょう。

総合図書館であったおはなしの会を見てきました。講師の先生の話の中で、保護者の方に次のようなお願いをしてありました。

「読み聞かせをすることは，子どもにとって親からの愛情をもらうことになるし，本は楽しむものというイメージをもつことにつながります。また，親も本を読む姿を子どもに見せてほしい。」

この通信ではできるだけ色々な学校の読書活動例を紹介したいと思っています。

発　行：　福岡市教育委員会　生涯学習課
電　話：　７１１－４６５５　　ＦＡＸ：　７３３－５５３８

図書館員のひみつの本棚　第１３３回

もうすぐ梅雨ですね☆今回は雨の日にぴったりの絵本をご紹介します。

『かさもっておむかえ』

征矢　清／さく　長　新太／え　福音館書店　１９６９年　９７２円

＜お勧め年齢＞

・乳幼児☆☆☆　・低学年☆☆　・中学年――　・小高学年――　・中学生――

・高　校――　・一　般――

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

〈本の紹介〉

雨の日にお父さんを電車の駅まで迎えに行ったかおるに声をかけてきたのは、ねこでした。なかなか帰ってこないお父さんを、乗り換えをする地下鉄の駅まで迎えに行こうというのです。待ちくたびれていたかおるは、ねこと一緒に地下鉄の駅に行くための電車に乗り込みますが、その車両に乗っていたのは、くま、おおとかげ、さる、ぞうなどのたくさんの動物たちでした。

＜子どもに手渡す時のポイント＞

雨の日を舞台にした、ちょっと不思議なお話です。動物たちの登場する場面に子どもたちはびっくりして喜んで聞いてくれますが、全体としてはお父さんを一人で迎えに行く子どもの気持ちが丁寧に描かれているので物語です。

最初と最後の主人公の歌のところは、節などをつけて読んであげると楽しく聞いてもらえるのではないでしょうか。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館　重村さやか